

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域》
- 2 単元名 『バケツで米作りをしよう』 (全30時間=実施時期: 4月~12月)
- 3 単元のねらい

バケツ稲を栽培して観察したり、お世話になった方を呼んでライスパーティをすることを通して、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		バケツ稲で稲を栽培する。	稲の観察をする。	観察結果をワークシートに記録する。	ライスパーティを開く。
出逢いの仕掛け	もの	バケツ稲で稲を栽培する。	稲の観察をする。	観察結果をワークシートに記録する。	米作りについてプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
	ひと	ボランティアさんに米作りについて説明を聞く。	米作りの作業について説明を聞く。	ワークシートに記録する。	ボランティアさんを招き、自分達で作ったお米を使ったライスパーティを開く。
	しごと(こと)				
引き出された姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>				
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>		バケツ稲の世話をする。		米作りについて分かったことをプレゼンテーションソフトでまとめる。
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>				ボランティアさんを招いてライスパーティを開き、調べてわかったことを発表する。

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「米作りのさかんな地域」

6 他学年、他校(園)種との連携・接続・交流

7 単元の流れ（探究過程）と活動の実際

課題設定

社会科で「米作りの一年」について知り、バケツ稲作りを通して米作りについて学ぶという課題を知る。

情報収集



佐能直樹さんから米作りについて教えていただく。



土作りをして、田植えをする。



稲の成長の様子をタブレットを利用して定期的に観察する。



稲刈りをする。



脱穀、粳すり、精米をする。

整理・分析

タブレットでバケツ稲観察記録をまとめる。

発表する内容、グループを決める。

観察記録やクイズ形式でまとめる。

まとめ・表現



佐能直樹さんに向けて観察記録やクイズ形式で発表する。



作ったお米を使ってライスパーティーを開き、佐能直樹さんに感謝の気持ちを伝える。

8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 実際に作業をしたり、観察したりすることで、米作りについての理解を深めることができた。
- ライスパーティという目標を設定することで、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力が育った。